

魅力ある県立短期大学づくり検討委員会の設置について

1 現状・課題

県立短期大学については、入学者の9割以上が県内出身者、卒業生の就職先の概ね8割が県内であり、若年者の県内定着に大きく貢献。

他方で、少子化等の影響により、受験者数が減少傾向にあり、令和5年度以降、定員割れする学科がある状況。

このような状況を踏まえ、短期大学であることを前提に更に魅力ある学校づくりに取り組む必要がある。

2 設置目的

県立短期大学について、将来の鹿児島を支える人材を育成する場として、時代の要請に対応した教育内容の充実など、魅力ある学校づくりを検討する。

3 委員等

(1) 検討委員会委員等

教育（大学、高校等）及び経済団体の有識者、県立短期大学（特別委員）

(2) ワーキンググループ

検討委員会の下部組織としてワーキンググループを設置し、実務レベルでの詳細な検討等を行う。

ワーキンググループ構成員名簿

No.	分野	所属・役職等	氏名
1	教育	鹿児島大学法文学部 准教授	さかい ゆうすけ 酒井 佑輔
2		教育庁高校教育課 主任指導主事兼高校教育係長	さかぐち そういちろう 坂口 崇一郎
3	経済	鹿児島経済同友会 常任幹事	ひさなが しゅうへい 久永 修平
4	県	鹿児島県立短期大学 准教授	せぐち たけし 瀬口 毅士
5		総務部学事法制課 主幹	ひろかわ まさゆき 廣川 雅之